

おのみちの森づくり事業推進方針の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：尾道市

1 要旨

おのみちの森づくり事業(交付金事業)を実施するにあたって、「ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」を踏まえ、尾道市の里山林を取り巻く現状と課題を念頭に第3期の推進方針を定め、これに基づいて森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取り組みを行うこととする。

2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	里山林の手入れ不足による荒廃化、枯損木・被害木の放置や竹林繁茂によって、里山林の景観の悪化が進んでいる。	高齢化や過疎化によって、里山林への手入れ不足や竹林繁茂が課題となっている。	里山林の手入れや竹林伐採等、里山林を整備することにより、景観の改善・保全に繋がり、日本遺産に指定されている尾道水道と寺院・住宅街が一体となった尾道三山等、景観の向上を目指す。	里山林の除間伐や下刈り、枯損木・森林病虫害等による被害木の処理、竹林の伐採整理及び森林管理歩道の整備等、森林整備を実施する。
地域資源活用林 (特認含む)	地域の資源となっているシンボリックな里山林が、手入れ不足等により森林としての公益的機能が減退し、枯損木・被害木が増加し、荒廃しつつある。	里山林の手入れ不足や竹林繁茂等によって、森林の公益的機能の減退や地域の資源となる森林風景の悪化が進んでおり、森林とふれあう場所の整備がおこなわれている。	しまなみ海道に続く瀬戸内海国立公園に指定されている吉和町鳴滝山、向島町高見山、因島地域の白滝山、瀬戸田町の観音山など、里山林の整備や枯損木等整理、遊歩道・休憩所等の整備や植栽活動を実施することにより、森林とふれあう場所の再生を目指す。	住民団体が主体となった里山の保全や活用を目的とする計画に基づき、里山林の除間伐、植栽活動、枯損木・被害木の整備、観光客・地域住民が訪れやすくするための遊歩道や休憩所等の整備等の取り組みを支援する。
鳥獣被害防止林	手入れ不足の里山林から続く田畑において、イノシシやシカ、サル等、野生動物が侵入し、農作物に被害を及ぼしたり、人里まで活動域を広げたために、農作物被害のみならず、人的被害を含む鳥獣による被害が拡大している。	イノシシ・シカ・サル等による被害が拡大しているため、地域住民が一体となって、これらの野生動物が集落に近づきにくい環境づくりに取り組めるための里山林整備が課題となっている。	イノシシ・シカ・サル等、野生動物が集落に近づきにくくする一定の緩衝帯機能を持ち、地域住民が一体となって管理できるような里山林整備を目指す。	鳥獣被害が著しい地域にバッファゾーンとしての森林整備を実施し、その他の対策を一体的に取り組み、持続的に管理が見込まれる地域から重点的に実施する。

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容
森林を守り育てる体制 森林整備を行う者 （住民団体等） （小規模林業経営者） ※主体別に記入 森林整備を助ける体制 （森林資源の継続的利用）	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり事業を活用する住民団体等は財政的基盤が脆弱であり、高齢化・過疎化も相まって、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望が多い。 ・個人による林業経営は、個々の森林所有面積が少ないことから専門化が難しい状況にある。 ・地域の住民団体による活動が主体となっているため、他の支援団体の体制は整備されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民団体等が森づくり事業を活用しながら、次世代の地域住民を巻き込み、森林保全活動を展開することにより、地域の活性化に寄与している。 ・兼業ではあるが、小規模林業経営者が誕生し、所有林はもとより、地域での受託もしながら、森林整備が進み森林資源が循環する。 ・活動への参加者が増加し、実行委員会主導による里山林整備活動や広範囲での世代の交流が展開される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活用支援事業や森林・林業体験活動支援事業を活用し、住民団体等の活動の維持と組織の活性化を図り、次世代に活動を引き継いでいく。 ・新たな森の守り手について、地域住民等を中心に模索し、支援にあたっては守り手にあった支援となるよう県と連携しながら進める。 ・里山活用・保全活動支援事業や森林林業体験活動支援事業を活用し、住民団体等の活動の維持・活性化を図る。
取組への理解促進 参加拡大による理解促進 事業の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしま山の日県民の集い」の開催等イベントとして市内で開催されるものについては、市広報誌により周知してきたが、ひろしまの森づくり県民税による事業が、おのみちの森づくり事業として、市内でどのように利用され、どのような効果があるのかは周知できていない。 ・市民が、県内などで開催されるイベント情報、森林整備等の体験や木育活動等を学習する機会の情報を入手する手段・機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が森づくり県民税の用途や効果、実績を市広報誌やホームページ等で情報を得て、理解している。 ・市民が欲している、森林・林業に関するイベントや活動などの情報が市広報誌・ホームページ等でタイムリーに入手できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し、市広報誌を活用し、事業の実績や効果を市民に広く発信していく。 ・事業実施箇所については、森づくり事業で整備した旨の看板等を設置する。 ・「ひろしま山の日県民の集い」を開催し、多くの市民の参加を得ながら、森づくり事業の周知を図るとともに、住民が参画する森づくりを誘導する。